

令和 8 年度第 2 回奈良市特別職報酬等審議会会議録				
開催日時	令和 8 年 6 月 1 0 日（水）午前 9 時 2 5 分から午前 1 0 時 2 5 分まで			
開催場所	奈良市役所 北棟 6 階 6 0 2 会議室			
出席者	委 員	青木委員、伊藤委員、松山委員【計 3 人出席】		
	事務局	細川総合政策部次長、藤田議会総務課長、秋田議事調査課長、中井人事課長補佐、人事課給与係（松山、上本、西村）		
開催形態	公開（傍聴人なし）	担当課	総合政策部 人事課	
議 題 又は 案 件	1 資料説明（前回会議からの追加資料） 2 審議（議員の報酬に関して）			
決定又は 取り纏め 事項	1 議員報酬については据置きとすることが妥当である。 2 今後は議会改革の見える化を進めるべく、議員としての活動内容を積極的に市民に発信し、市民の納得感を得られるよう努めてほしい。 3 引続き報酬が適正かどうか定期的に審議する必要がある。			
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等				
1 議員報酬の適正なあり方について 事務局から下記資料について説明し、現在の議員報酬が適正か審議した。				
■ 伊藤委員より、奈良市議員の議員報酬は中核市などの類似団体と比較しても遜色ない水準であり、財政力指数などの各指標からも、奈良市の財政状況が前回の報酬改定時より著しく改善されているとは言えない。議会改革についても他市と比較して進んでいると言い難く、議員としての活動内容についても十分に市民に発信されているとは言えない。現状全てが消化されていない政務活動費について検討してほしい。今回は議員報酬を据え置いた上で、今後については、財政状況の変化や議会改革の進展を注視し、引続き報酬の適正なあり方について、定期的な審議が必要との意見があった。 ■ 松山委員より、二元代表制において議会は市長と並ぶ重要な役割を担っているが、市長の活動に比べて議会としての活動が市民に見えにくい現状である。議員の評価は政策提案などの「アウトプット」で行うべきだが、現状では個々の議員の活動に差があり、一概に評価することが難しい。財政状況についても十分な改善に至っておらず、議会改革が目覚ましく進展していると言い難いため、報酬は据				

置きが妥当との意見があった。 ■ 青木委員より、議会改革の事例資料を確認しても実際に改革が進んでいるかどうか分かりづらく、市民レベルではなおさら改革の実感が乏しいのかと思われる。政務活動費などの情報がホームページで公開されているが、市民が実際にこういったページを確認しているとは考えにくいため、議員の活動内容を市民に伝えるよりよい手段を考えて市民の納得感を得なければ、報酬の引上げは難しいのではとの意見があった。	
資 料	追加資料 4 過去の議会改革の成果 追加資料 5 議会改革推進特別委員会ロードマップ(案) 追加資料 6 10 年間で議員報酬月額の設定のあった中核市 追加資料 7 奈良市の財政状況の変遷 追加資料 8 中核市の財政状況の変遷 参考資料 議会改革推進特別委員会記録 参考資料 議会改革推進特別委員会中間報告書 参考資料 議会改革推進特別委員会作業部会報告書 参考資料 議会改革推進特別委員会名簿 参考資料 令和 8 年 3 月定例会議会議案第 2 号 参考資料 令和 8 年 3 月定例会議事録 参考資料 議会活動の範囲 参考資料 地域経営のための議会改革度調査 2025 結果レポート 参考資料 議会改革度調査 2025 総合ランキング 300 参考資料 議会改革度調査設問一覧